



支援者各位

## 4周年を迎えました！

いつも「子ども食堂」「学習支援教室」など、「COCORO ごはん」の活動にご支援やご協力をいただき、ありがとうございます。

2016年11月に活動を始めて、おかげさまで4年が経ちました。「COCORO ごはん」の会員15人に地域のお手伝いの方や大学生ボランティアがスタッフとして活動しています。

### ◎新型コロナウイルス感染で学校が休業に

新型コロナウイルス感染防止のため、3月2日から区立小中学校が臨時休業となりました。北区では、学童に登録している子ども達はそこに通うことができましたが、そうでない子達は学ぶ機会や友達に会う機会を失いました。保護者が仕事を休めない家庭では、子どもだけで過ごすことになり、一方で、全国的に仕事が減ったりして経済的に逼迫する家庭が出たり、保護者が在宅で虐待が増えたという報道がされるようになりました。

### ◎配布会の実施（計12回）

殆どの「子ども食堂」が活動を休止する中で、私たちは、こんな時こそ「子ども食堂」が必要だと感じ、毎週水曜日の夕方に予約制で持ち帰り用のお弁当（子ども限定）を用意し、子ども達と繋がりを持ち続けました。企業からの果物やお菓子、全国組織の「こども食堂ネットワーク」や子ども食堂を支援するNPO「むすびえ」を通しての食品・消毒液等のご寄付にも助けられました。

配布会では、友だちと久しぶりに会って笑顔の子ども達、保護者同士で言葉を交わして「ホッとした」と話すお母さん達から「子ども食堂があってよかった！」と言われました。「1週間ぶりに家から出た」という小学生もいました。対面でお弁当を手渡す「配布会」は、学校で給食が始まる6月半ばまで続け、この間、新たな子ども達と繋がることもできました。毎週顔を合わせることで子どもたちの様子を知ることができて、ホッとしました。

### ◎臨時の学習支援教室（計9回）

3月から3か月間の休校の間に、保護者が勉強をみられる家庭、リモートで塾の学習を続けられた子ども達と、そうでない子ども達の学習格差が開いていきました。毎日ゲームばかりしているという子どももいて、大変心配でした。

北区社会福祉協議会と共同運営の「滝野川学習支援教室」（北区からの事業委託）は、区の意向で2月下旬から6月までお休みとなりましたが、私共独自の事業として、この学習格差を広げないために、4月から毎週、換気や消毒に注意を払い、臨時の学習支援教室（8人の登録、非公開）の開催に踏み切りました。

## ◎現在の「子ども食堂」と「学習支援教室」

区立小中学校での給食再開に歩調を合わせ、三密を避けて「子ども食堂」を再開しました。開所を19時までと短縮し、マスク着用・完全予約制などとし、定員を減らすために「小学生以上の子ども」限定としています。小学生から高校生を対象とした「学習支援教室」も、従来通りの月2回開催に戻っています。

## ◎夏休みの「臨時子ども食堂&学習支援教室」(計10回)

今年の区立小中学校の夏休みは、わずか3週間。コロナ禍の中、旅行や帰省もできない状況で、私たちは夏休みの「臨時ランチ会&学習会」(15人の登録)を非公開で行いました。学生講師の指導で全員が宿題を早めに終わらせ、プール遊びやスイカ割りなど、お楽しみも企画しました。

※7月末、コロナに対応して今年度限定で「子どもの居場所(子ども食堂)」に対する助成金が出ると区からお知らせいただき、応募。これを資金としました。

## ◎これからの事業

コロナの感染も、もちろん心配です。高齢の家族がいるため、お休みしている会員もいます。それでも、必要とされている限り、活動を続けたいという気持ちが勝っています。保護者の方から「子どもがいつも大変楽しみにしている」「子ども達が交流できる場をつくってくれてありがとうございます」という声も、いただいています。

「子ども食堂」に登録している子ども達は、東京国際フランス学園を含めて、小学生では5校の所属。温かい食事と地域の子も同士・大人との出会いの場であり、優しい大学生ボランティアと過ごせる場でもあります。不登校や困難を抱えた子どもにとっても、ホッとできる居心地の良い場所であるよう、努力していきたいと思っていますので、引き続き、ご支援やご協力をお願い致します。



「配布会」のオニギリ弁当



企業からのご寄付



お弁当の配布は、三密を避けて

「子ども食堂」  
再開!

